

# 従事者に安全・安心な作業を指導する！

## 伐木スキルアップ研修

### 【伐採現場の災害発生状況等】

林業における労働災害は、長期的には減少傾向にあるものの、災害発生率は他産業よりも高い水準です。平成29年度の林業の死亡災害のうち、伐採作業中の事故が78%を占めていることから、労働安全衛生規則の改正により、今年8月1日から伐採作業時における規則が厳格化されました。

### 【伐木技術のスキルアップに向けて】

伐採作業時における労働災害を防止するためには、安全管理士と林業普及指導員の連携はとて重要で

す。しかし、ほとんどの普及指導員は、実際に現場で伐採作業をした経験が少ないのが実態です。そのため、現場での労働災害防止活動に役立てるための初の試みとして、普及指導員が<sup>※</sup>伐倒練習機などを使用した反復練習を行い、伐木技術のスキルアップを図る研修会を開催しました。

※傾斜可変デッキに丸太を固定し、

受け口や追い口など伐倒の基本技術を練習する機器

### 【まずは講義】

(公財)岩手県林業労働対策基金の常務理事で「安全管理士」でもある千葉栄氏を講師に迎え、実習時間に多くの時間を充てるため、受講者数6人という少人数体制で行いました。

まずは、伐採作業の基本と注意点などについて①安全に対する意識は服装に現れる。②知識を展開して形に(行動)できるかが重要であり、指差し呼称の徹底が大切。③正しい受け口づくりは反復練習が必要。などの指導を受けました。

### 【いよいよ実習…】

実習では、最初にエンジンの始動方法の確認や、ガソリンやオイルの点検など、基本的なことから始めました。

適正な伐倒方向を決め、その方向にきちんと倒すことが何より大切で



重要な受け口づくりの練習

あるとの教えから、まずは、平地で正確な受け口づくりの反復練習を行いました。なかなか水平をとれない(チェーンソーバーの先が下がってしまう)人が多く、ほとんどの人が修正しながら繰り返し適正な受け口づくりに没頭していました。

### 【初体験の伐倒練習機】

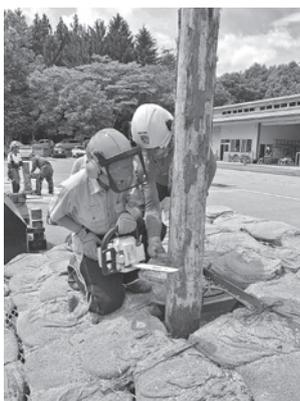
伐倒練習機を使った伐倒実習では、斜面での作業となり、受け口の水平をとるのがさらに難しくなります。平地で何度も練習した成果もあり、受け口づくりの技術が向上しました。

続く仕上げは追い口です。これもまた大切なつるの残し方等の指導を

受け、感覚を養っていました。

### 【今後の取組】

今回の研修で、受講者は受け口づくり(形、方向)やつる機能の重要性を再認識し、「今後の指導に役立たい」「もっと練習したい」という意気込みが感じられました。今回の研修の結果を踏まえ、第2回目を10月に開催し、普及指導員の一層のスキルアップによる安全管理指導に繋げていきたいと考えています。



伐倒練習機による練習

林業技術センター 普及班  
019 (698) 1337